※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　デザイン科

教科	工業	科目	製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	インテリア製図						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、図面の描き方や寸法の記入方法、三面図や等角図の書き方等を学習します。作品を製作する時に必要な設計図を書けるようになって、自分が作りたいものが表現できるようになりましょう。図面の書き方を習得するには慣れが必要なので、できるだけ休まないようにしましょう。

２　学習の到達目標

・デザインに関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
・製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
・デザインにおける製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図の基本的な知識を身につけていているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。	作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。	説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基礎製図	・製図とは 製図の定義 ・製図用具について 製図用具の使用方法 ・着彩用具について 絵具、各種筆、直線定規等の取り扱い方 ・図法 平面図法(直線、平面、円等)	a: 製図の基本的な知識を身につけていているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。 b: 作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。 c: 説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
2	図法	・図法 平面図法(直線、平面、円等) 立体図法(投影、透視図等)	a: 製図の基本的な知識を身につけていているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。 b: 作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。 c: 説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※令和４年度以降入学生用

3	応用	今まで学んだ技術を生かし、ロゴマーク等の作成	a: 製図の基本的な知識を身につけていているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。 b: 作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。 c: 説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度